

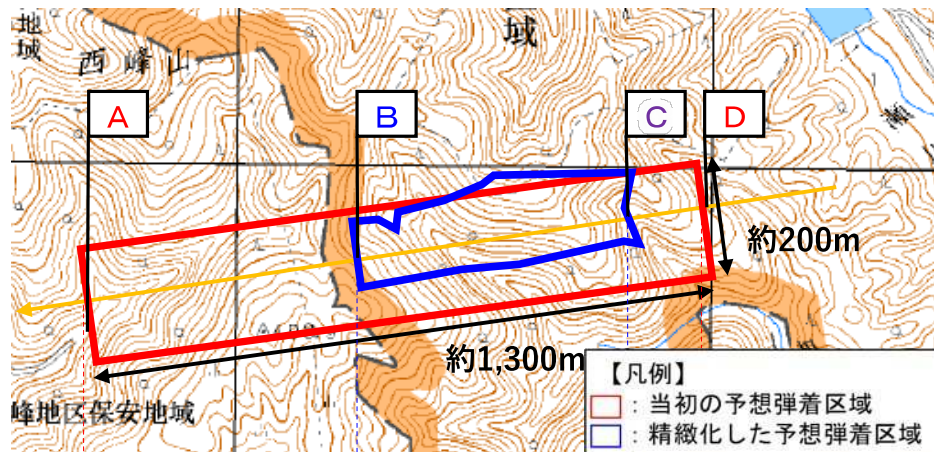
あいば野演習場における弾着不明事案に係る搜索状況について

趣 旨	令和7年2月3日（月）午後2時40分頃、あいば野演習場で発生した155mm榴弾砲FH70 実弾射撃訓練中の弾着不明事案に係る不明弾の搜索の状況について説明するものです。	
搜索の 状況	○ 事案発生以降2月7日（金）までの間、延べ1,680名（後方人員含め約2,700名）により、弾着が予想される地域（右図赤枠）を焦点として広く地表面の搜索を実施し、赤枠内の地表面には弾が存在していないことを確認 ○ 上記以降、弾が地中に埋没している可能性があることから、同地域へ民間人が立ち入りしないよう巡察を実施するとともに、2月27日（木）以降、地中搜索のための民間企業との調整を実施 ○ 3月21日から現在までの間、弾着が予想される地点を中心に、民間企業と連携した地中搜索を実施（積雪により開始が遅延） ○ 4月30日から現在までの間、地形を踏まえ精緻化した予想弾着区域（右図青枠（①））を優先して、地中搜索を実施 ○ 6月20日現在の地中搜索の進捗 青枠の100%、赤枠の58%終了 ○ 右図①終了後、②、③を順次実施予定 ○ 現在まで、当該不明弾は発見されず	

搜索地域設定の考え方

趣 旨

不明弾の搜索地域設定の考え方を説明するものです。



○ 赤枠（当初の予想弾着区域）

2月3日の事案発生時、速やかに搜索地域を概定する必要があったことから、当時入手し得た情報に基づき、**余長を広く確保**し作成（2月5日概成し、じ後の地中搜索でも活用）

○ 青枠（精緻化した予想弾着区域）（4月24日概成）

速やかに不明弾を発見するため、**着弾地点の地形の影響等を加味**し作成（4月24日概成）

【弾道を横から見たイメージ】

